

LB 1

このますます緊迫化するインドシナ情勢において、我々は注目せねばならぬ。日本帝国主義者の「アジア」会議への参加とそこで露見した印イニシアの発揮と、事態であらう。それは、昨年の日米共同声明の実質化として、初めて日帝の意図が露明されてゐるだらうし、またその意味する日帝のアジアの盟主としての登場と、日本帝國主義者着々と現行行なつてゐる内閣軍力強化と沖縄の返還とは、表裏一体のものとして現行行なわれてゐるといふことを考えるならば、今日の日本帝國主義者が我々を弱く環である沖縄・安保を、我々と彼らとの対決手段として鮮明に浮び上らせ、自らの任務を遂げな打撃を集中させていかなねばならないといふことが我々は、自らの任務から見て必要があるだらう。そしてこの斗ひこそが真の意味での、インドシナ半島の争ひであり、争への連帯を語ることで済むといふことではないと確認しようでは

5/20

平和と民主主義をめぐる

新刊